

歴史的分野の目標

- 1 日本の歴史を中心に、その大きな流れと各時代の特色をつかみ、日本史の理解と国民としての自覚を持つ。
- 2 歴史の展開の上で大きな役割を果たした人物や各時代の特色を表す文化遺産を通して、歴史を具体的に理解し尊重する態度を持つ。
- 3 我が国と諸外国の歴史や文化との関わりを考え、国際協調の精神を養う。
- 4 身近な地域の歴史や具体的な歴史遺産などを通して興味関心を高め、主体的に学習に取り組み、資料を活用して多面的多角的に考え、公正に判断し表現する能力と態度を持つ。

評価の観点・方法

- ☆ 我が国や世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。
- ☆ 社会の様々な出来事から問題を発見し、得た情報を多面的・多角的に考察して公正に判断し、その過程と結果を発表や討論などにおいて適切に表現することができる。
- ☆ 日本や世界の歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。

特色ある学習方法

- 自分で追究する問題を見つけ、解決するための手段を探し、観察、調査等の活動を経て資料を収集し、選択、活用し、情報を自分でまとめる作業を行う。
- 自分でまとめた資料を基に、話し合い活動を行い、他の考えを理解することで新たな発見をし、さらなる問題の追究を進めていく。
- 歴史的分野や公民的分野の内容を横断しながら学習を進めていく。

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	○歴史の流れ  テーマを決めて調べよう、まとめよう、発表しよう。  ○古代までの日本  文明の起こりと日本の成り立ち ・人類の出現 ・古代文明の発生 ・縄文と弥生文化 ・大王の出現 ・古墳文化	・関心を持っている歴史上のテーマを決め、資料を集め、まとめ、発表することを通して、歴史への興味関心、学ぶ意欲を高める。  ・日本列島における人々の生活の開始、古代国家の形成と発展のあらしを東アジア世界との関連で理解する。
2 学 期	○古代国家の歩みと東アジアの世界  ・大化の改新 ・律令国家の成立 ・奈良時代の貴族 ・平安京と摂関政治 ・文化の国風化	・天皇・貴族の政治が展開した我が国の大きな歴史の流れをつかむ。  大陸の国際的な文化から国風文化へと進む特色を理解する。
3 学 期	○中世の日本 ・武士の成長 ・武家政権の成立 ・鎌倉時代の文化 ・モンゴルの襲来 ・南北朝の動乱 ・室町幕府 ・民衆の成長と戦国	・武家政権の誕生と武家社会の発展の大きな流れをつかむ。  東アジア世界との密接な関わりと国際政治への影響について理解する。

